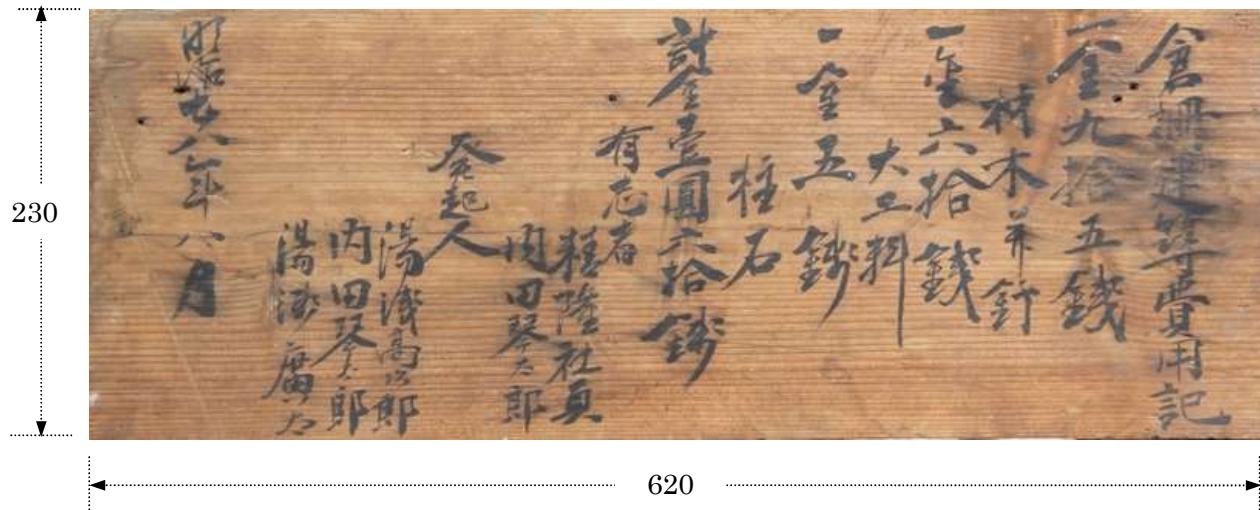


## 倉柵建築費用記 (掛札一覧表④)

明治二八年八月

「倉柵」が何なのか分からぬが、察するに明治十四年に築造した土蔵の裏（西）岸を、山瀬による浸食から防護するための柵（しがらみ。当地ではしがらと慣用）（竹や丸太を組んで、川岸などの崩落を防ぐ構造物）を作つたときの決算報告ではなかろうか。

これも例にたがわづ、告知・広報板だったことは、釘穴跡からしても明白だ。



倉柵建築費用記	
一金九拾五錢	材木并釘
一金六拾錢	大工料
一金五錢	柱石
計金壹圓六拾錢	有志者
精隆社員	内田琴太郎
湯浅高次郎	内田琴太郎
湯浅廣太	内田琴太郎
明治廿八年八月	

并は「並びに」の意

やや小ぶりだが、これも掛け札に相違ない。

